

くずは駅前広場を面白くしてみよう!



『くずは駅前広場を面白くするワークショップ』参加メンバー募集

公共交通部会とまちづくり部会では、くずは駅前広場のせっかくの広い歩行者空間を、地域コミュニティの活性化、交流促進に活かすよう、広場の多目的利用を考えるワークショップを企画し、呼びかけを行っています。

まずは来年3月、くずは各地の小中学校や幼稚園、地域住民の協力を得て花を育てていただき、駅前広場でその花をつかった取り組みを実施し、広場の多様な使い方を提案していきたいと考えています。その計画づくりを地域の多くの方々と考えていきたいと思しますので、ワークショップへ参加していただける方を募集しています。ご協力、ご支援をお願いします！

『くずは駅前広場を面白くするワークショップ』

【開催日】

11月より 月1回(日曜日)を目安に開催
・2008年11月16日 ・12月14日
・2009年 1月18日 ・2月15日を予定

【開催時間】午後2時～午後4時

【開催場所】くずは体育文化センターなど

参加ご希望の方は、ひらかた環境ネットワーク会議事務局宛てに、メール又はFAXにより応募して下さい。2008年10月31日〆切スタッフも募集しています。

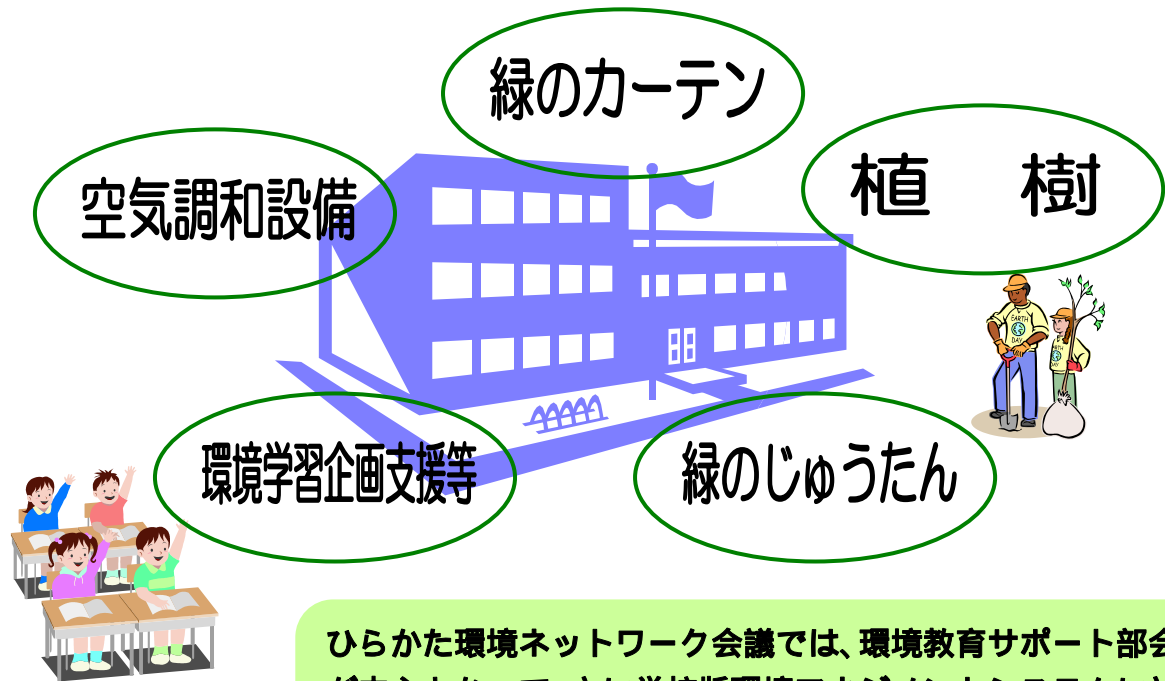
目次

枚方市学習環境整備 PFI 事業	2
部会の活動	3
～特集～	
太陽光発電導入促進の動き	4
枚方市内の自然エネルギー利用の方向性	5
枚方市内の自然エネルギー利用事例	6
お知らせ・環境情報コーナー	7

枚方市学習環境整備PFI事業

枚方市では、学校園における暑気対策をはじめ、年間を通じた子どもたちの学習の場である普通教室等への空気調和設備の整備と、併せて校内緑化などの環境負荷軽減策を取り入れた学習環境整備を、PFI方式により行うこととなりました。空気調和設備は2009年3月の使用開始を目指して整備を進めていきます。(枚方市HPより) 詳細

http://www.city.hirakata.osaka.jp/freepage/gyousei/kyouiku/sisetu/work/pfi_info.htm



ひらかた環境ネットワーク会議では、環境教育サポート部会が中心となって、主に学校版環境マネジメントシステムに対する支援業務と環境学習会等の開催支援業務を行っていく予定です。

PFI (Private Finance Initiative : プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) とは!?

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法で、民間の資金、経営能力、技術的能力を活用することにより、国や地方公共団体等が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスを提供できる事業についてこの手法で実施します。我が国では、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI法)が1999年7月に制定されました。

(内閣府 民間資金等活用事業推進室 (PFI推進室) HPより)

枚方市学習環境整備PFI事業における業務委託契約を理事会で承認

9月22日(月)、2008年度第3回理事会を開催し、「枚方市学習環境整備PFI事業における業務委託契約書(案)」について承認を得ました。これにより、ひらかた環境ネットワーク会議では、環境教育サポート部会を中心に「学習環境整備PFI事業関連環境学習企画支援事業」を実施します。事業内容として主に、枚方市立学校園における空調設備の省エネ運用および学校版環境マネジメントシステム(S-EMS)の企画支援、また、教職員を対象とした環境に関する学習会等の開催の補助を行います。

公共交通部会の活動

2008年10月25日(土) 第6回 バス!のってスタンプラリー
～枚方東部・穂谷を満喫～ にご参加ください!

【実施日】2008年10月25日(土) 午前9時集合～午後3時半終了

【実施場所】枚方市駅～穂谷を中心とする枚方東部

【定員】150名 参加無料(別途交通費と、収穫を行う場合は実費が必要)

【スタンプポイント】

- ・Ama.てらす(大阪府北河内府民センター3階屋上):花植体験(第一陣のみ)
- ・伝王仁墓(ボランティアガイド)
- ・正俊寺(ボランティアガイド)
- ・旧田中家鋳物民俗資料館(ボランティアガイド)
- ・地蔵池オアシス共園
- ・春日神社(津田)(ボランティアガイド)
- ・重村酒造醸見学(ボランティアガイド・有志によるガイド)
- ・芋ほり・野菜(黒豆枝豆・ねぎ)収穫
- ・堆肥場

スタッフ
募集中



環境教育サポート部会の活動

2008年度「ひらかた環境くらわんか塾」講座のご案内

- 環境教育サポーター養成講座 -

【講座日程】2008年10月～2009年2月(全8回)

【開催場所】メセナひらかた等

【募集定員】30名程度

【募集対象】地域や学校で環境教育や環境保全活動をしていこうと考えている方

【参加費】2,000円(全8回分)

【その他】講座を終了した方には「環境教育サポーター」認定証を発行します。環境教育サポーターは、市域の学校園のS-E S M(学校版環境マネジメントシステム)審査に同行し、地域や学校園などの環境教育活動のサポート役として活躍することが望まれています。

詳細 <http://www.hirakata-kankyou.net/pdf/kurawanka2008.pdf>

スタッフ
募集中



運営委員会の活動

『地球交響曲(ガイアシンフォニー)第1番』自主上映会開催

【開催日時】2008年11月6日(木) 午後1時30分～ 午後7時～

【会場】枚方市民会館大ホール

【料金】一般1,000円(当日1,300円) 小学生・障害者800円(当日1,000円)

第3回団体交流会のご案内

【日時】2008年12月11日(木) 午後2時～4時

【場所】サブリ村野3階会議室



お申込・お問合せは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局まで 072-847-2286

太陽光発電導入促進の動き



温室効果ガス排出量の半減に向けて

2007年5月24日、安倍元総理より地球温暖化問題について、「美しい星50(クールアース50)」が発表され、「世界全体の温室効果ガス排出量を現状に比して2050年までに半減する」という長期目標が提案されましたが、この目標の実現には従来の技術の

延長では困難であり、革新的技術の開発が不可欠という現状がありました。

『Cool Earth-エネルギー革新技术計画』策定(経済産業省2008年3月5日)

重点的に取り組むべき革新技术として「21」技術を選定。このひとつが“革新的太陽光発電”。

実用化されているのは主に第一世代の太陽電池技術である結晶系シリコン太陽電池。一層の効率向上・低コスト化が課題。

第二世代の超薄型結晶シリコン太陽電池、超高効率薄膜太陽電池、有機薄膜、色素増感型等の有機系太陽電池の開発により、2030年における発電コスト7円/kWh、発電効率40%を目指す。

第三世代の量子ナノ構造太陽電池や新規概念の原理を活用した太陽電池により2050年に向け、発電効率40%超を目指す。

『電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法』(RPS法)施行(2003年4月)

電力の小売を行う事業者に対し、その販売する電力量に応じて新エネルギー等により発電された電気を一定割合利用することを義務付ける法律。対象となるエネルギー源は、風力、太陽光、地熱(熱水を著しく減少させないもの)、中小水力(水路式で1,000kW以下)、バイオマスの5種類。

太陽光発電導入促進の動き

オイルショックを機にいち早く太陽光発電の研究を始めた日本メーカーは、世界トップの技術力を誇っていましたが、近年風向きが変わってきました。太陽光発電からの電力を電力会社が優遇価格で買い取る制度を導入したドイツやスペインなどを中心に、欧州では太陽電池の普及が加速しています。そんな中、日本メーカー各社は、海外需要拡大と国内の大規模発電プロジェクトに向けて増産に動き始めました。



日本は2004年末まで最大の導入国。2005年以降はドイツに抜かれて世界第2位。

太陽電池の生産量は日本が世界トップ。2006年時点では世界の4割近くを日本の企業が生産していたが、近年ドイツや中国の生産量が急激に伸びて日本のシェアは減少傾向にある。

ソーラー大作戦(2005年環境省が提唱)

総予算40億円あまり、日本中を巻き込むソーラーエネルギー利用の新たなビジネスモデルを実地検証するためのさまざまな施策の集合。その一環として、メガソーラー事業が構想された。

メガソーラー事業(=メガワットソーラー共同利用モデル事業)

地域で1MW=1,000kW級の大規模太陽光発電の施設を導入し、電力を地域の需要家が共同利用するビジネスモデルを構築するもの。

メガソーラー発電所の建設計画事例

【堺第7-3区太陽光発電所(仮称)】

事業者: 関西電力㈱
場所: 堺第7-3区産業廃棄物埋立処分場
発電出力: 約10MW
その他: 陸上設置、総事業費約50億円、
2009年度着工予定

【堺コンビナート太陽光発電施設(仮称)】

事業者: シャープ(株)及び関西電力グループで検討
場所: 大阪府堺市堺区築港八幡町
発電出力: 最大約18MW
その他: 屋根上等設置、
2010年度3月までに着工予定